

2020年 8月 5日

(2020年12月8日改訂)

公益社団法人 日本3B体操協会

イベント開催における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

1. はじめに

本ガイドラインは、令和2年5月14日（10月2日付改訂）公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会より示された「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、スポーツ庁が作成した（9月29日付改訂）「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡等を参考に作成し、公益社団法人日本3B体操協会が主催するイベントの開催における感染拡大防止対策の方針を示すものです。なお、日々多くの公的機関より新型コロナウイルス感染症に関する最新情報が更新されておりますので、今後の状況により、逐次見直すこととします。

2. 開催にあたっての基本的な考え方について

本ガイドラインを基本とし、政府やイベント開催地の都道府県の方針に従うことは大前提で、会場となる施設の利用者ガイドラインを遵守し、施設管理者とも相談をしながら感染拡大防止対策を適切に行ってまいります。

また、地域の感染状況に変化があった場合は柔軟に対応し、感染拡大の兆候、クラスターの発生があった場合は、各都道府県知事の協力の要請等に基づき、中止、延期等の適切な対応を行います。

3. 開催における感染拡大防止対策について

(1) 全般的な事項

- ① 感染拡大防止のため、主催者が留意すべき事項及び参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、参加募集時に事前周知する。
- ② 感染拡大防止対策がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認を行い、参加者に感染拡大防止への協力を要請し、主催者だけでなく関係者全員が感染防止に取り組む。
- ③ 障がい者や高齢者など参加者の特性にも配慮する。

(2) イベント参加募集時の対応

参加募集に際しては、厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス

接触確認アプリ(COCoA)や各地域で取り組まれている通知サービスの活用を参加者へ促します。事前に感染拡大防止のために以下の参加者が遵守すべき事項を明確にして協力を求めます。これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、イベントへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

(3) 参加者が遵守すべき事項

感染拡大防止のために参加者に以下のことを求めます。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時等の会員発表を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、スタッフ等との距離(できるだけ2 m以上)を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- ⑤ イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(4) 当日の参加受付時の対応

当日の受付にて密になることへの防止や、安全に開催できるように配慮して受付業務を行います。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置する。
- ② 参加者がマスクを準備しているかを確認する。持参していない者がいた場合は主催者側で配布する。
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。（火器使用設備・器具、白熱電球等の熱電となるものの近くには原則設置しないようにする。ただし、これらの近くに設置することが感染予防対策上必要な場合にあっては、燃えにくい素材を使用する）

- ④ 受付時に密を防止するため参加者が距離をおいて（できるだけ2m（最低1m））並べるように目印を設置する。
- ⑤ 受付を行うスタッフは、マスクを着用する。（視覚障がいのある方への対応をする場合等は、フェイスシールド等を着用することがある）
- ⑥ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求め、体調の確認を行う。
 - ア 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）
 - ※個人情報の取扱いに十分注意する。また、これらの事項は参加申込時に登録を求める。
 - イ 開催当日の体温
 - ウ 開催前2週間における以下の事項の有無
 - ・ 平熱を超える発熱（おおむね37度以上）
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(5) 主催者が留意すべき事項

参加者が安心安全に参加できるよう、主催者は大会運営にあたり以下のことに留意します。

① 運営スタッフの管理

- ・ 大会を運営するスタッフは定期的な検温を行い、発熱など体調が悪い場合は参加を控える。
- ・ マスクは常時着用する。

② 参加者の管理

- ・ 参加者同士が密な状態とならないよう、必要に応じあらかじめ座席数を減らすなどの対応を行う。
- ・ 大声での会話を控える、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する。
- ・ 定期的に人の居ない所へ移動してマスクを外し、休憩して熱中症等の対策をとる。

- ・全国的または大規模なイベントを開催する場合は、入退場時の密集回避（時間差入場等）、待機場所等の密集回避を行う。（密集が回避できない場合は、そのキャパシティに応じ、収容人数を制限する）
- ・発表時以外はマスクの着用を求め（水分補給時は除く）、着用していない者がいた場合は個別に注意等を行う。

③ 発表時の対策

- ・会員発表は、十分な距離（2 m以上）をあけて位置取りをする。
- ・用具は会員自身のものを使用し、貸し出しは行わない。
- ・プログラムは感染防止を考慮したものとする。

④ 施設の利用方法と管理

- ・開催する利用施設の利用者ガイドラインを遵守する。

ア 会場

- ・室内での開催となるため、換気の悪い密閉空間とならないよう、定期的に窓を開け外気を取り入れて十分な換気を行う。
- ・施設の空調設備を適切に運転する。
- ・開催中に適宜コロナ対策マナー放送をする。

イ 更衣室、休憩・待機スペース

- ・入退室の前後に手洗いまたは手指消毒をする。
- ・広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。
- ・室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所については、こまめに消毒する。
- ・換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する。

ウ トイレ・手洗い場所

- ・トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所については、消毒剤を設置し、こまめに消毒する。
- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・手洗い場にはハンドソープ、アルコール等の手指消毒剤を設置する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示を行う。
- ・ハンドドライヤーの使用は避け、手洗後は参加者が持参したタオルを使用する。
- ・行列が考えられる場合は、距離を置いて並べるよう目印を設置する。

- ・利用者が密な状態になるおそれがある場合は、入場制限を行う。

エ 飲食について

- ・基本的に食事は不可とする。
- ・参加者が飲物を手にする前に手指消毒を行うこと、マスクを外すため会話をなるべく控えるようにアナウンスする。

オ ゴミの廃棄

- ・鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。
- ・マスクや手袋を外した後は、石鹸と流水で手を洗うか、手指消毒薬を使用するかのいずれかを行う。

(6) イベント前後の留意事項

- ① 参加者はイベント参加の前後も三つの密を避け、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。また公共交通機関等を利用する場合には、分散利用する。
- ② 万が一感染が発生した場合に備え、主催者は個人情報の取扱いに十分注意しながら参加者名簿を作成し、参加者より提出を求めた書面を、保存期間（少なくとも1ヶ月以上）を定めて保存しておく。
- ③ 参加者及び主催者がイベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、必ず施設及び保健所へ速やかに報告する。

「体調チェックリスト」

以下の個人情報は、イベント開催における新型コロナウイルス感染拡大防止対策以外の目的では使用いたしません。

記入日 年 月 日

氏名		年齢	
住所			
電話番号			

※個人情報の取扱いには十分注意いたします。

体 温	度 分
-----	-----

本日及び過去2週間以内の体調についてご確認致します。

以下の項目にあてはまるすべてにチェック✓を入れてください。

※すべてにチェックが入った方のみ入場できます。不安な方は指導者へお声をおかけください。

- 平熱を超える発熱はない（おおむね37度以上）
- 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状はない
- だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）はない
- 嗅覚や味覚に全く違和感はない
- 体が重く感じる、疲れやすい等はない
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はない
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触はない